

## 研究内容一覧

分野名	教授名	研究内容
循環器病態内科学	葭山 稔	<p>心筋梗塞・狭心症の病態と治療の研究 心不全、心筋症、弁膜症の病態研究 心エコー図、シンチ、心臓CT、MRI、PETによる画像診断学の最新の研究 高血圧、動脈硬化、大動脈疾患、末梢血管病変の研究 再生医療の研究 血管インターベンションの最新研究 循環器疾患に対する薬物治療の研究 膠原病疾患の研究</p>
呼吸器病態制御内科学	平田 一人	<p>1) 気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の病態と治療の研究 2) 肺癌の早期診断と治療の研究 3) 慢性呼吸不全の病態と治療の研究 4) 肺高血圧症の病態と治療の研究 5) 慢性咳嗽の病態と治療の研究 6) 呼吸器感染症の診断と治療の研究 7) 間質性肺疾患の診断と治療の研究 連絡先：06-6645-3995</p>
肝胆膵病態内科学	河田 則文	<p>本講座では、肝臓の病態生理と分子細胞生物学的解析、ウイルス性及び自己免疫性慢性肝疾患の診断と治療、肝癌、胆管癌と膵癌の診断と治療、などを基礎と臨床にまたがり研究を行っています。</p> <p>【慢性肝炎の臨床研究】</p> <p>1) B型肝炎に対するラミブジン・アデフォビル・エンテカビル治療 2) C型慢性肝炎、肝硬変に対するインターフェロン治療 3) 原発性胆汁性肝硬変やルポイド肝炎の遺伝子変異</p> <p>【癌の臨床】</p> <p>1) 肝癌の腹腔鏡的肝切除（高度先進医療）と経皮的ラジオ波焼灼術 2) インターフェロンによる肝発癌抑制 3) 進行肝癌、胆管癌や膵癌に対する化学療法工夫</p> <p>【メタボリック症候群と肝臓】</p> <p>1) 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の基礎的病態解析 2) 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の診断法と治療法の開発</p> <p>【肝臓細胞社会学】</p> <p>1) 肝類洞壁細胞の研究 2) 肝星細胞と肝線維化の研究 ホームページ：http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/</p>
消化器内科学	荒川 哲男	<p>消化器病学の基礎的研究と消化器内科分野の臨床研究・治療法の開発を主なテーマとしています。基礎的研究としては消化管粘膜の防御機構およびその傷害機構の病態生理の解明を主たる研究テーマとしています。また、臨床研究においては、内視鏡センターと有機的な連携のもとで進めています。</p> <p>【上部消化管分野】</p> <p>1) 消化管粘膜傷害の機序解明と治療 2) 消化管機能異常の機序解明と治療 3) 消化管発癌の機序と制御に関する基礎的研究と臨床応用</p> <p>【下部消化管分野】</p> <p>1) 特発性炎症性腸疾患の粘膜免疫学的病因解明 2) 特発性炎症性腸疾患の病態生理機序に基づく新たな治療の開発 3) 炎症性発癌の実態と制御</p> <p>【内視鏡分野】</p> <p>1) 内視鏡下治療の適応拡大 2) 小腸出血の診断と治療 ホームページ：http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/</p>

分野名	教授名	研究内容
代謝内分泌病態内科学	稲葉 雅章	<p>本講座では①甲状腺機能亢進症や腎性副甲状腺機能亢進症をはじめとし、骨の変性疾患なども含めた広汎な疾患における骨カルシウム代謝異常とその対策に関して基礎面と臨床面の両方からの検討、②関節リウマチにおける血管障害や新生に関する検討を中心にして研究を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨・関節疾患における動脈硬化の進展とその機序に関する研究</li> <li>2) 甲状腺疾患での動脈硬化の進展とその機序に関する研究</li> <li>3) 関節リウマチでの滑膜での血管新生機構</li> <li>4) 骨・関節疾患における骨代謝異常</li> <li>5) 慢性腎不全での骨代謝異常および遺伝子レベルの進展における役割</li> </ol> <p>実験手法は遺伝子工学・分子生物学・細胞生物学を用いて行っている。臨床研究は、生化学的測定、bioassay, SNIPなどを用いて行っている。研究指導は教官および学位取得上級生からなるチームで行い、自身で研究計画を立案・遂行のできる研究者の養成を目指している。</p> <p>連絡先：06-6645-3806 ホームページ：<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/interm2/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/interm2/</a></p>
腎臓病態内科学		<p>本講座では、腎不全の進行防止と腎不全における代謝異常の研究を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 糸球体硬化症の進展におけるインテグリンと細胞外基質とサイトカインの役割</li> <li>2) ヒト腎生検標体の病理学的検討とステロイド治療効果</li> <li>3) 腎不全の進行に寄与する因子の臨床的解析</li> <li>4) 糖尿病性腎症における血管合併症</li> <li>5) 腎不全における代謝異常 — 特にカルシウム・リン代謝異常の解析</li> <li>6) 透析患者の生命予後に寄与する因子の解析</li> </ol> <p>実験については、培養メサンジウム細胞を用いる。臨床研究では、糖尿病グループ、骨リウマチグループと共同で臨床データの収集と解析を行う。研究指導は教官または学位取得上級生からなるチームで行い、自分自身で研究を立案・遂行できる能力の研究者の育成を目指している。</p> <p>連絡先：同上</p>
血液腫瘍制御学	日野 雅之	<p>本講座では、造血機構、造血器悪性腫瘍、造血幹細胞移植に関係する基礎研究、臨床研究と診断検査法の開発を行っている</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 造血幹細胞移植に関する研究</li> <li>2) 化学療法の副作用の克服(特に心不全、感染症)に関する研究</li> <li>3) 造血器悪性腫瘍の治療戦略に関する研究</li> <li>4) 造血細胞の増幅に関する研究</li> <li>5) 造血のメカニズムの解明に関する研究</li> <li>6) 造血微小環境(ストローマ)の役割に関する研究</li> <li>7) 白血病発症のメカニズムに関する研究</li> <li>8) サイトカインおよびその受容体に関する研究</li> <li>9) 検査医学のnew technologyに関する研究</li> </ol> <p>ホームページ：<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/labmed/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/labmed/</a> 連絡先：06-6645-3881</p>
神経精神医学		<p>本講座では、神経精神疾患の基礎的、および臨床的な研究を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 摂食障害(神経性食思不振症、神経性過食症)</li> <li>2) ストレスの脳内機序</li> <li>3) 職場のメンタルヘルスとうつ病</li> <li>4) 強迫性障害</li> <li>5) 社会不安障害</li> <li>6) パニック障害</li> <li>7) 統合失調症のQOL</li> <li>8) 精神療法</li> <li>9) 痴呆、脳血管性うつ病</li> <li>10) 児童精神医学</li> </ol>

分野名	教授名	研究内容
医薬品・食品 効能評価学	北條 泰輔	本講座は医学部附属病院において医薬品・食品効能評価センターの運営を担当しており、附属病院で行われる治験・臨床試験の実施を支援するとともに、国が進めている治験推進施策の一環である中核病院・拠点医療機関としての体制整備にも取り組んでいる。本講座では、治験・臨床試験支援の実践を通じて、これらの質的向上に資する推進方策を検討するため、以下の研究に取り組んでいる。 1) 医薬品・医療機器の治験・臨床試験の実施に関する研究 2) 食品の臨床試験（効能試験）の実施に関する研究 3) 医薬品・医療機器の臨床評価に関する研究 4) 食品の臨床評価に関する研究 5) 治験・臨床試験の支援方策に関する研究 6) 治験・臨床試験を支援する人材の育成に関する研究 7) 治験・臨床試験に係る行政施策に関する研究 連絡先：06-6645-3791
放射線医学	三木 幸雄	1)画像診断に関する研究 2)画像診断器機の改良と新たな画像診断器機の開発に関する研究 3)画像検査技術の改良と開発に関する研究 4)血管造影技術に関する研究 5)画像診断下治療（IVR）に関する研究 6)高精度放射線治療の開発に関する研究 7)放射線治療の治療効果の評価法に関する研究 8)医用画像情報システムの改良と開発に関する研究
核医学	塩見 進	本講座では主として核医学を用いた種々の研究を行っている。 1)腫瘍診断における核医学を用いた研究 2)脳疾患における核医学を用いた研究 3)骨・関節疾患における核医学を用いた研究 4)消化器疾患における核医学を用いた研究 5)PETを用いた脳疾患の研究 6)PETを用いた腫瘍の研究 7)PETを用いた骨・関節疾患の研究 8)画像診断におけるネットワーク活用の研究 主として核医学的手法を用いた研究を臨床的、基礎的な面から行っている。 ホームページ：http://www.med.osaka-cu.au.jp/nuucmed/ 連絡先：06-6645-3885
診断病理学	若狭 研一	1) 肝臓の病理 a. 肝細胞癌の病理 早期肝細胞癌、前癌病変の病理 慢性肝疾患と発癌のメカニズム b. ウイルス性肝炎の病理と病態 c. 非アルコール性脂肪肝炎の病理と病態 2) 女性生殖器腫瘍の病理 子宮頸部前癌病変、子宮体部前癌病変の病理と病態 3) 産褥後子宮復古の機序 連絡先：06-6645-2225
麻酔科学	西川 精宣	生体反応を、分子レベルでの反応から一全体全体の変化にわたって解析し、麻酔のメカニズム、及び集中治療医学領域における病態の解析を行う。 1)麻酔薬の代謝と体内薬物動態 2)特殊病態、治療過程における薬物代謝と体内薬物動態 3)分子生物学的手法を用いた麻酔薬の代謝機構の解明 4)麻酔薬の中樞神経系に対する作用 5)麻酔薬による臓器障害機構の解明 これらの研究を臨床医学へ応用することを常に心がけている。 ホームページ：www.med.osaka-cu.ac.jp/Anesth/ 連絡先：06-6645-2185
救急生体管理 医学	溝端 康光	本講座は大阪市の第三次救急医療機関として重症救急患者の診療を行うとともに、救急医療体制の整備にも取り組んでおり、救急医療についての臨床的、実践的課題を解明するために以下の研究に取り組んでいる。 1) 病院前救護活動の質の改善についての研究 2) 外傷初期診療の標準化が外傷医療の質改善におよぼす効果についての研究 3) 重症外傷の救命率向上のための治療戦略についての研究 4) クモ膜下出血の予後改善についての研究 5) 重症急性膵炎に対する局所動注療法の研究 6) 効果的な災害時医療活動の構築についての研究 連絡先：06-6645-3987

分野名	教授名	研究内容
卒後医学教育学	廣橋 一裕	<p>本講座は医学部附属病院において総合診療センターを担当している。患者中心、現場重視の医療を実践し、その中で総合医療医を育成するための臨床研究を行う。</p> <p>1) 卒後臨床研修におけるプライマリーケア教育プログラムの開発            プライマリーケアを習得するには新卒後臨床研修の基本科目である内科、外科、救急の習得が不可欠である。それらを基盤にした専門診療科としての総合診療科の役割を明確にする。またスキルスシミュレーションセンターでの臨床技能教育に参加する。</p> <p>2) 総合診療センター外来受診患者動態の臨床疫学的研究            外来初診患者を解析し、特に多臓器に及ぶ問題点を有する症例やいずれの領域にも当てはまらない境界領域の症例の疫学的研究を進める。</p> <p>3) 都市型大学病院における総合診療センターの位置づけ            大阪市内唯一の大学病院であり、市内には総合医療センターをはじめとする4つの市民病院が存在する。交通のアクセスは良好であり、卒後臨床研修における市民病院群とのネットワーク化を図るための方略を検討する。</p> <p>4) 総合診療センターにおける継続診療の意義            総合診療センターは振り分け外来に終始する危険性を有している。臨床能力や教育効果を向上させるため、継続診療の意義について検討し、評価する。            連絡先：06-6645-3797</p>
女性病態医学	石河 修	<p>女性は卵巣機能の発現とその衰退とともに、初経、閉経という明らかな徴候でもって、思春期、性成熟期、更年期を経て、老年期という経過をたどる。生殖という重要な機能とこれに関わる特殊な機能を担う女性は、男性にない種々の疾患、あるいは生理機能の異常を負荷されているが、この分野では女性の生物学的機能の特性とその破綻の伴う病態を時系列生物学の視点から捉えた以下のような研究を行う。</p> <p>1) 女性性器癌の浸潤転移機構の分子生物学的検討。            2) 癌悪液質の病態について、癌悪液質誘発物質(AIS)の同定と代謝学的形態学的特徴の解明。            3) 超音波ドプラー血流計測による胎児胎盤循環動態の解析。            4) 婦人科腫瘍と遺伝子多型性との関連。            5) 蛋白・ホルモン・遺伝子環境が生殖生理に及ぼす影響、特に血管増殖因子発現と不妊との関連。            6) 子宮筋腫の発生機序。            7) 女性心身症、性機能異常。            8) 骨盤臓器脱や尿失禁などの女性骨盤底医学の病態の解明および改善法の追求。            以上の項目について、常に臨床への応用を念頭に置いた研究を心がけている。</p>
発達小児医学	新宅 治夫	<p>本講座は小児科の臨床的課題解明のために以下の臨床的・基礎的研究を行っている。</p> <p>1) 糖代謝異常症、アミノ酸代謝異常症、リソソーム病の病態とその治療に関する研究            2) 小児糖尿病の発症と治療に関する研究            3) 小児血液疾患・悪性腫瘍の病態とその治療に関する研究            4) 小児神経疾患の病態とその治療に関する研究            5) 中枢神経系の発生とその異常に関する研究            6) 新生児期の消化吸収に関する基礎的研究            研究手法は臨床的課題について分子生物学、蛋白質化学、形態学、脳磁図等を用いている。            ホームページ：<a href="http://medwebsv.med.osaka-cu.au.jp/pediat/">http://medwebsv.med.osaka-cu.au.jp/pediat/</a>            連絡先：06-6645-3816</p>
老年内科学	三木 隆己	<p>骨粗しょう症および物忘れに関する診療を専門的に実施しています。骨粗しょう症の診療では、複数部位の骨の量を測定し、骨の壊れる程度、骨の作られる程度を最新の方法で評価します。新しい治療や検査も可能です。物忘れが年齢相応か病的に悪いかを記憶の検査により判断し、脳の萎縮の有無や脳血流低下の有無を評価します。</p>
腫瘍外科学	平川 弘聖	<p>消化器癌、乳癌・甲状腺癌の増殖・進展・転移機序の解明とその制御法の開発：食道癌、胃癌（特にスキルス胃癌）、大腸癌、膵癌、甲状腺癌および乳癌を用い、遺伝子学的および分子生物学的に増殖やリンパ節転移、血行性転移、腹膜播種性転移に関わる因子の解析とそれに基づいた分子標的治療薬や個別化治療法の開発を検討している。また、癌細胞のみならず、癌周囲微小環境の観点から、癌と間質線維芽細胞・免疫担当細胞・腹膜中皮細胞・血管内皮細胞との相互作用の解析を行い、これらの機序に基づいた癌の新しい治療法の開発研究も行っている。さらには、腫瘍関連抗原、癌遺伝子、癌抑制遺伝子の変化に基づいた予後予測因子や抗癌剤感受性予測因子の解析あるいは膵癌に対する抗体を用いた膵癌の診断治療の研究を行っている。            連絡先：06-6645-3838</p>

分野名	教授名	研究内容
循環器外科学	末廣 茂文	<p>本講座では、循環器疾患の病態解明や心臓血管手術の成績向上を目指し、外科的診断・治療法、手術補助手段についての基礎的・臨床的研究を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人工心肺による体外循環時の臓器障害発生機序に関する研究</li> <li>2) 補体・サイトカイン変動からみた開心術時の炎症性反応に関する研究</li> <li>3) 新たに開発された人工心肺回路の臨床的な性能評価</li> <li>4) ラット摘出心灌流モデルを用いた心筋保護法の開発・評価</li> <li>5) 心エコー法、特に経食道心エコー法の外科的応用</li> <li>6) 僧帽弁形成術成績向上のための工夫とその臨床的評価</li> <li>7) ラット異所性心移植モデルを用いた急性拒絶反応に関する研究</li> </ol> <p>ホームページ： <a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/cardiosurg/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/cardiosurg/</a>  連絡先： 06-6645-3980</p>
泌尿器病態学	仲谷 達也	<p>本講座では腎・尿路の臓器機能と病態と治療について、固体・臓器レベルから遺伝子レベルに至るまでの研究をすすめている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 免疫抑制剤に起因する急性および慢性腎障害の病態と病因について</li> <li>2) 移植腎動脈硬化性病変の分子生物学的解析</li> <li>3) 腎移植における阻血・再灌流障害の病態と予防</li> <li>4) 長期透析合併症に対する透析液と透析膜の影響</li> <li>5) 尿路上皮での発癌に関する遺伝子解析</li> </ol> <p>実験手法は主として分子生物学・遺伝子工学・免疫組織学的手法を用い、研究指導は教官ならびに関連基礎医学教室とも連携して展開している。</p> <p>ホームページ： <a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology/</a>  連絡先： 06-6645-3855  nakatani@med.osaka-cu.ac.jp</p>
皮膚病態学	石井 正光	<p>本講座では第一に皮膚での種々の炎症の原因を作っている皮膚アレルギー機構の解明を中心に研究を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アトピー性皮膚炎のモデルマウスを用いた病因の解明</li> <li>2) 皮膚炎とかかわりの深い消化管を経る感作法の確立とその機構解明</li> <li>3) 消化管感作を用いた免疫寛容の導入法の探索</li> <li>4) 消化管感作における表皮樹状細胞の動態と応答の解明</li> <li>5) アレルギーを惹起しやすい個体としにくい固体の相違に関する指標の探索</li> </ol> <p>その他、1 アトピー性皮膚炎の遺伝子探索、2 膠原病や糖尿病の潰瘍を治癒させ、かつ健康な美しい皮膚を作り出すための微小循環研究、3 難治潰瘍治療のための骨髄幹細胞移植実施、4 炎症の拡大と遷延化をもたらす好中球異常反応の解明、5 抗酸化食品による皮膚炎への影響など多岐にわたる研究活動を行っている。</p>
視覚病態学	白木 邦彦	<p>各種眼底疾患における眼循環の解明、加齢に関連した各種眼底変化、血液網膜柵の一端を担う網膜色素上皮の病態を中心に主に臨床的研究を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 眼底微小循環における画像解析</li> <li>2) 脈絡膜微小循環の血流制御</li> <li>3) レーザー眼科診断学</li> <li>4) 網膜色素上皮細胞の修復</li> <li>5) 網膜色素上皮細胞-脈絡膜毛細血管複合体における加齢医学</li> </ol> <p>連絡先： 06-6645-3867</p>
耳鼻咽喉病態学	山根 英雄	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内耳性難聴、めまいの病因、病態および研究成果の治療への応用をすすめている。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 種々の原因による内耳障害の遺伝子発現の解析</li> <li>2) 内耳循環動態の非侵襲的解析法の確立</li> <li>3) 種々原因による内耳循環動態の解析</li> <li>4) 一酸化窒素の内耳での発現機構とその意義</li> </ol> </li> <li>2. 中耳の構造と聴力ゲイン <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鼓膜・耳小骨連鎖の相関と聴力ゲイン</li> <li>2) 先天性外耳道閉鎖症における機能病態と治療戦略</li> </ol> </li> </ol> <p>連絡先 06-6645-3870</p>

分野名	教授名	研究内容
脳神経外科学	大畑 建治	<p>本講座では脳神経疾患全般及び脊椎・脊髄疾患に関する基礎・臨床の研究を行っている。特に下記の項目には力を入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭蓋底腫瘍・脊髄疾患における手術法の開拓</li> <li>2) 定位放射線外科による脳腫瘍・脳血管障害の基礎・臨床的研究</li> <li>3) てんかん外科における焦点検索と手術方法の研究</li> <li>4) 脊髄損傷後の再生に関する基礎研究</li> <li>5) 脳血管内手術による治療法の臨床研究</li> <li>6) Positron Emission Tomography, Magnetic Encephalogram等による高次脳機能の研究</li> </ol> <p>連絡先：06-6645-3845</p>
整形外科	中村 博亮	<p>本講座では、整形外科全般にわたって基礎的・臨床的研究を行っている。研究指導は教官およびそれに準ずるものからなる研究チームで行い、研究のプロトコールの作成、研究手技の習得、そして結果の解析を自分自身で行える研究者の育成を目標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨形成の基礎的研究</li> <li>2) 骨粗鬆症の臨床的研究</li> <li>3) 人工股・膝関節の臨床的・基礎的研究</li> <li>4) 脊椎外科の臨床的研究</li> <li>5) 上肢再建外科の臨床的・基礎的研究</li> <li>6) 骨・軟部腫瘍の基礎的研究</li> </ol> <p>ホームページ：<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/</a>  連絡先 06-6645-3851</p>